

令和5年度
地域づくり活動
アシスト事業報告

「海岸線憩いのフォトスポット事業」での成果

双海町ジュニアリーダー会
代表 中野 珠里



伊予市双海町には、双海町ジュニアリーダー会という学生ボランティア団体があり、現在は中学生から大学院生まで計43人で活動をしています。活動をしていく中で、双海町についてたくさんの人に知っていただき、魅力を伝えていきたいという思いが強くなってきました。

双海町には海岸線沿いに、全長約16kmの国道378号（ゆうやけこやけライン）が整備されています。この国道沿いの歩道では、ウォーキングやランニング、サイクリングをしている町内外の方や観光客の方が多いらしいです。そこで、双海町に住む人々や、観光客の方などの休憩スポット、交流の場となることを願い、令和4年度から手作りのベンチを製作して設置する活動をさせていただいています。

約1km間隔のポイントで、合計16箇所ベンチを設置していくこととなり、今現在では8箇所ベンチを設置しています。



ベンチデザイン選考会の様子

下灘駅前には、下灘駅をイメージして夕日と水色の汽車を描いたベンチを設置したり、道の駅ふたみ付近には、双海町名物のじゃこ天をモチーフにデザインしたベンチを設置したりしています。このように写真を撮っても楽しめるようなベンチを製作し、「海岸線憩いのフォトスポット事業」に取り組んでいます。観光客の方にベンチの写真をSNSで発信していただくことにより、県内外の方や海外の方など、幅広い方々に双海町を知っていただくきっかけになると思っています。双海町の魅力がたくさんの方に伝わることで、双海町を訪れる観光客や移住者の方が増え、更に賑やかな地域になっていくことを願っています。

私たちがこのような事業を実施することができるのは、えひめ地域活力創造センターの「地域づくり活動アシスト事業」助成金に採択していただいたおかげです。また、このプロジェクトを進めていく中で、関係機関の皆様や地域の方々にご協力いただきました。感謝の気持ちを活動への活力とし、今後ベンチの製作、設置を進めていきたいと思っています。これからも大好きな双海町の魅力を伝える活動ができるよう、仲間と協力しながら励んでいます。



慎重にネジを止める



細部まで丁寧に塗ってます



双海の海をバックに記念写真



設置場所周辺もきれいに掃除